

マイルドヤンキーにおけるパチンコの位置づけ

ー必要不可欠な娯楽〈パチンコ〉ー

本論文は、マイルドヤンキーがパチンコでどのような楽しみ方をして、パチンコになにを求め、マイルドヤンキーにとってどのような存在になっているのかを明らかにすべく、マイルドヤンキーの定義に当てはまりパチンコ・パチスロの経験がある埼玉県入間市在住の4名に半構造化インタビューを行った。マイルドヤンキーとは「上『京』志向がなく、地元で強固な人間関係と生活基盤を構築し、地元から出たがらない若者たち」(原田 2014: 25)である。

マイルドヤンキーにとってパチンコとは、体力的、精神的にも負担が少なく車で気軽に行ける場所であり、パチンコの結果や演出の共有を通じて仲間同士のつながりが深まることが分かった。また、郊外の遊び場の少なさが故にパチンコ店が遊び場として選ばれやすいということも明らかになった。仲間との遊びにはほとんどお金を使うマイルドヤンキーは、少額の投資で始められ、かつ高いリターンが期待できる可能性を持っているパチンコが遊びの一環として敷居が低く、楽しさと気軽さを持ち合わせているため「ちょうどいい」存在である。